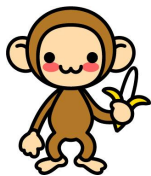




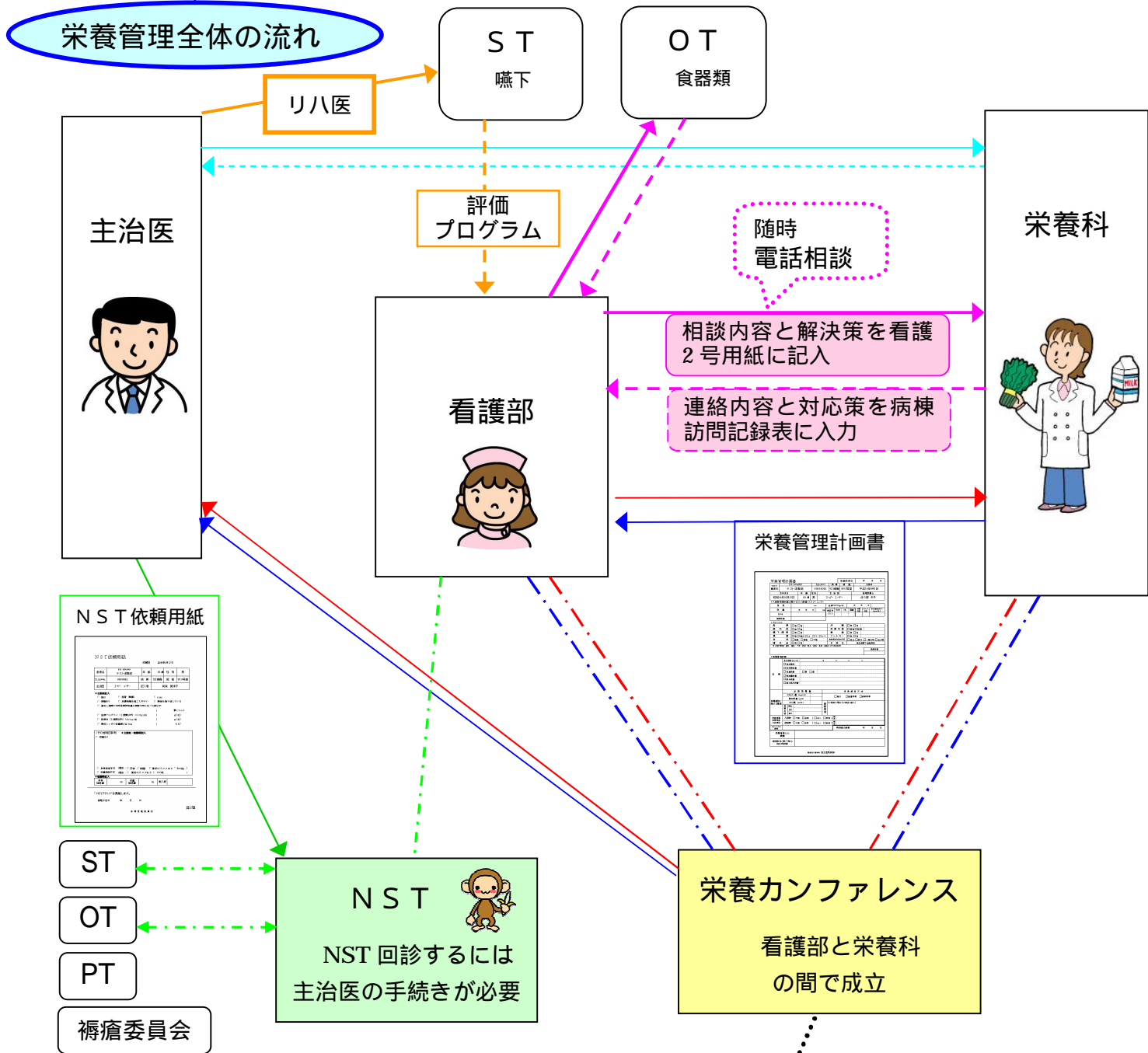
# NST NEWS

H24.1

第 30 号



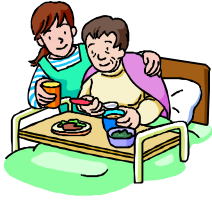
栄養管理の流れと症例を紹介するよ



- 食事変更の指示・相談
- ← 返答
- 摂食機能療法オーダー
- 報告
- 相談
- ← 返答
- カンファレンス対象患者提案
- ← カンファレンス対象患者提案
- カンファレンス実施
- ← 検討結果の提案
- NST回診依頼
- NST回診実施
- ← 相談

病棟	実施	開始時間	終了時間	担当スタッフ
2 N	第2木曜日	14:30	15:00	チームリーダー その日の受け持ち
3 N	第2火曜日	13:45	14:15	
4 N	第1木曜日	14:00	14:30	
5 N	第2月曜日	14:30	15:00	
6 F	第1水曜日	10:30	11:00	
2 S	第2木曜日	15:30	16:00	
3 S	第2木曜日	15:30	15:45	
4 S	第4月曜日	15:30	16:00	
5 S	第2金曜日	14:30	15:00	

# 栄養カンファレンスについて



NSTでは、他職種でNST回診にて関わる場合と、病棟看護師と管理栄養士の間で「**栄養カンファレンス**」をする場合があります。

通常は月1回病棟に栄養士が出向き、困っている事例について検討しますが、(NSTマニュアルP5)それ以外にも適宜担当栄養士に連絡すれば、タイムリーに対応してもらえます。例えば・・・

## 事例1.各食事のバランスとカロリーを見直し、無理なく意欲的に摂取できるようになった例

A氏 90歳代 女性 脳梗塞再発後に摂食・嚥下障害が出現し、先行期障害(覚醒レベルや意欲にむらがある)もあります。



看護師

・食べる量にむらがある。  
・進まない時は時間をかけて介助する必要がある。  
食べて元気になってほしいんですが、栄養士さん、何かいい案はありますか？

わかりました。  
内容や時間によって特徴はありますか？



栄養士

・昼は比較的良好に食べられますが、夕は拒否が多い。  
・全粥ムースの喫食率が低い。  
・おかずムースより甘いものを好むなどの特徴があります。



主治医

合計カロリーは、患者さんの必要量があればいいです。  
内容は調整OKですよ。

では、年齢・ADL・疾患を考慮して工夫してみましよう！

目標:安定した喫食量の確保

対策:1200kcalあった嚥下食を、必要エネルギーの930kcalに減量し負担軽減。  
朝夕の品数を減らし、昼に多くして重点的に介助する。(夕は1皿のみ。)  
おかずムースをやめてヨーグルトを追加する。



朝



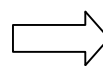
昼



夕



“おかげで全量無理なく、自力摂取もできるようになりました！  
食欲が増えて、「まだほしい」といわれるようになり、体重も維持できています。  
先日標準の嚥下食に戻す事ができました



みなさん  
ありがとう。



その他、嚥下食と5分菜のハーフ食など、個別対応をして安全においしく食べてもらえている方もおられます。  
困ったときにはお気軽に相談してみてくださいね。